

IOSCO 株式による資金調達過程における利益相反やコンダクト リスクに関するガイダンス

本日、証券監督者国際機構(IOSCO)代表理事会は、IOSCO メンバーが株式による資金調達過程で生じる利益相反やそれに関連するミスコンダクトリスクへ対応することに資するガイダンスを公表した。

市場仲介者の役割に起因する利益相反やコンダクトリスクは、株式による資金調達の統合性や効率性に悪影響を与え、投資家の信頼を損ない、発行者の資金調達にとって有効な手段としての資本市場を脅かしかねない。規制当局がこのようなリスクについて認識し対応する際に役立つよう、IOSCO は本日、株式による資金調達過程における利益相反やコンダクトリスクに関する報告書を公表し、市場仲介者が株式募集・売出しを行う上で起こりうる利益相反に規制当局が対応するためのガイダンスを提示している。

本報告書では、資金調達過程において、市場仲介者の役割が調達過程の統合性や効率性を損なうような利益相反を招きうる主要な段階について説明している。本ガイダンスは、以下のような利益相反に対処するための 8 つの対応策を含んでいる。

- ・ 株式募集・売出し前の発行者に対する見解が形成される段階における、利益相反やアナリストへの圧力
- ・ 株式配分過程で起こる利益相反
- ・ 株価設定に関する利益相反やコンダクトリスク
- ・ 株式募集・売出しを行う企業内の職員による個人的な取引から生じる利益相反やコンダクトリスク

本ガイダンスでは、株式による資金調達過程における市場仲介者にとってのコンダクト基準を規定している。

本ガイダンスの実施が、以下のような項目の向上を含む、株式による資金調達過程の実質的な改善に資すると期待している。

- ・ 資金調達過程において、投資家が適時に利用可能な情報の範囲や質
- ・ 株式配分に係る透明性

- ・ 調達過程全体の効率性や統合性や、投資家の信頼、有効な資金調達経路としての資本市場

本日公表する本報告書は、資金調達過程における利益相反やそれに関連するコンダクトリスクを検討する IOSCO の取組みにおける第一段階である。第二段階では、債権による資金調達過程における利益相反や関連するコンダクトリスクを検討する予定となっている。

(以 上)